令和２年度　信濃町立信濃小中学校　グランドデザイン

日本国憲法・教育基本法・学校教育法・学習指導要領・長野県教育振興基本計画（第３次）・信濃町長期振興計画（第６次）

（信濃町教育大綱 基本理念）　未来を拓く深い豊かな学びの創造

（学校教育 基本理念）「信濃町に誇りを持ち、次代を担う児童生徒の育成」～学びに向かう力と温かな人間性～

学校教育目標
願う児童生徒の姿

躍進
自分自身をみつめ、豊かに生きる児童生徒

自主
自ら求めて学ぶ児童生徒

友愛
命と仲間を大切にする児童生徒

克己
最後までやり抜く児童生徒

本校児童生徒の
よさと伸ばしたい点

○問いをもち、根拠に基づいた自分の考えを説明できるようになってきている。
○他者意識を高め、人とのつながりをより豊かにしていきたい。
○ふるさと信濃町を愛し、未来を考え、粘り強く行動できるようになってほしい。

「学校評価（児童生徒・保護者・教職員）」「全国学力学習状況調査」「全国体力運動能力運動習慣等調査」の結果より

校長の願い

1　学力の向上　→ 基礎基本の定着と学びに向かう力の育成
2　相手意識をもった言動　→ 人権感覚を磨き合う集団づくり
3　耐える力　→ 困難を乗り越えていく力の育成

重点と方策

目指す学校像 ～研究テーマ～
すべての子どもが安心して学べる学校づくり　～つながり・つなぎ目の充実～

自主　学びに向かう力　自分づくり

1　「しなのスタンダード」に基づき、児童生徒が問い、答える授業展開の工夫等「適切な言語活動」を位置付けるとともに、授業のユニバーサルデザイン化を図り、わかる・できる授業づくりを行います。
2　児童生徒と共に「しなのスタイル（授業の約束、家庭学習、生活習慣、読書活動の位置付け）」を創り、一貫した指導を行います
3　９年間の学習過程を見つめ直し、系統的に児童生徒一人ひとりの学力・体力の向上を目指します。

「わかる・できる授業」「しなのスタンダード・しなのスタイル」「系統的な学習過程」

友愛　人とつながる力　集団づくり

1　児童生徒会が中心となり、「感謝」と「思いやり」の気持ちを育む全校縦割り活動を積極的に取り入れ、異学年交流を促進します。
2　個別指導計画に基づく特別支援教育、不適応傾向の児童生徒へのチーム支援、学習相談・教育相談体制の一層の充実を図ります。
3　児童生徒と向き合う時間を確保し、一人ひとりのニーズに応じた支援を行います。

「異学年交流」「支援の充実」「向き合う時間」

克己　挑戦する力　未来づくり

1　生活科・総合的な学習の時間を中心に「ふるさと」を学び、地域との連携を図りながら「SDGs in Shinano」に取り組みます。
2　児童生徒が主体的に取り組む部活動のあり方について考えます。
3　地域・保護者・児童生徒・教職員が「目指す学校像」について議論し、R3 グランドデザインを共に創ります。

「SDGs in Shinano」「部活動のあり方」「共に創る学校」

地域の支え　「学校運営協議会」「しなの学校応援団」「ＰＴＡ」「しなのホエールズ」

授業支援　行事支援　児童生徒会支援　読書活動支援　部活動・クラブ活動支援　登下校指導支援　環境づくり支援　等

本年度 グランドデザインの評価の観点
　学校自己評価における次の項目において、肯定的に回答する児童生徒の割合を増やす。
1「学校の生活は楽しい」
2「担任（教科）の先生の授業はわかりやすい」
3「努力していること・がんばっていることを認めてもらえる仲間や先生がいる」
4「授業では『知りたい』『やってみたい』『できるようになりたい』と感じる」

＊年２回の学校自己評価を行います。その結果を教育課程編成プロジェクト、学校運営協議会等で検証し、次年度の方向を決定していきます。